

タイトル「**2023年度スポーツ科学部(公開用)**」、フォルダ「**(共通)**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT/SSCS1112		
科目名	文章表現 2		
担当教員	山崎 真紀子		
対象学年	1年,2年,3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	木 1		
講義室	1001	単位区分	選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	総合教育		
科目中分類	総合基礎		
科目小分類	文化教養		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-D〔市民的素養と市民的教養〕市民的素養と参加コミュニティに積極的な変化をもたらすために、知識・スキル・価値観、動機を動員することができる。 DP2-A〔日本の精神文化を理解し多様な価値を受容する姿勢〕地球的視点で物事を多面的に捉え、日本の精神文化を理解し異文化との交流の重要性を認識することができる。 DP4-I〔表現力・分析力〕文章表現を扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析を円滑に粉うことができる。 DP6-K〔表現力・対話力、ライティングコミュニケーション、オーラルコミュニケーション〕文章及び口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 A1 文化的自己意識、文化的多様性への理解（10%） A2 異文化適応、言語的コミュニケーション（10%） D1 文化的素養、知識の獲得、市民参加のためのコミュニケーション、市民的行動と省察と参加（40%） I1 内容理解、文理構造の分析、解釈、読者の声（15%） I2 表現、コミュニケーション（5%） K1 ライティング・コミュニケーション、目的及び文脈の理解、構成、内容の展開（10%） K2 オーラル・コミュニケーション、内容の構造化、言葉選び、話しの運び（10%）		
教員の実務経験	なし		
成績ターゲット区分	2進期～3発展期		
科目概要・キーワード	大学で学ぶにあたって必要とされる文章作成、レポートの書き方を基礎から学びます。主語述語の的確な使用、句読点の効果的な打ち方、原稿用紙の使い方、ワープロソフトの使い方、書式設定、表紙の付け方など文章表現1で学んだ基本的事項を総復習し、レポート及び学術論文を書くに至る方法を修得します。単なる感想ではなく客観的な資料やデータなど論拠を示し、段落を組み立て、構成を組み立てて論理的な文章を書くための学修を行います。本授業は、講義および実習・演習の組み合わせによってなされます。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、または各授業を補完・代替するためのオンライン授業を一部取り入れる場合があります。講義では、具体例を用いて文章表現の基本的事項や型を説明していきます。本学の図書館オンラインからデータベースを駆使して、学術的論文をダウンロードする方法や、その他学術論文を書く上で必要なデータベースの使い方を学修し、実践します。各自がパソコンを用いて論文の要約文や、レポート作成、初歩的な学術論文を実践的に作成し、大学及びその後の社会生活で役立つ文章の書き方を学習します。そして、学生間での相互批評や教		

	員による助言によって、書いたものを点検していき、文章作成や構成力を身につけます。また、e-learning教材を用いて弱点をみつけ、基礎文章力を強化します。 キーワード：文化的素養と知識の獲得・分析と読解・表現力と対話力、ライティング・コミュニケーション、オーラル・コミュニケーション						
授業の趣旨	■副題 市民生活や、大学生活を送るうえで必要な分析力、表現力を身につけましょう。 ■授業の目的 アスリートやコーチを目指すうえで競技スポーツに必要な分析力、探求力、表現力、対話力を修得し、市民生活を送るうえで必要な他者理解能力など大学生活を送るうえで必要な能力を身につけます。 ■授業のポイント 大学生活に必要なレポートや論文の作成能力を養成します。文章作成の上で必要な効果的な読点の打ち方や段落の取り方、表紙のつけ方など基礎的な学習から始めます。文章表現能力やプレゼンテーション能力を身につけましょう。						
総合到達目標	■市民的素養と市民的教養を身につけるために、日本語の文法と文章の構造を正しく理解する。 ・正しい文法と表記方法で文章を書くことができる。(1～4回) ・論理的な文章の構造を理解し、筋の通った文章を書くことができる。(1～4回) ■日本の精神文化を理解し多様な価値を受容する姿勢を身につけるために、日本語・日本文化の理解を深め、さらに他者や異文化との交流を重視する態度を習得する。 ・日本語の語彙を増やし、適切な表現によってわかりやすい文章を書くことができる。(2～14回) ・他の学生と相互批評し、意見を交換することができる。(3、6、10、14回) ■理解力・分析力・表現力・コミュニケーション能力を高めるために、文章を正確に読解・分析し、自らの考えを的確に表現する技能を身につける。 ・文献を、データベースを用いて探索し、類別することができる。(4～6回) ・自分の文章と他者の文章を書き分け、剽窃とみなされないように、引用であることを明確に示し、注や参考文献を付すことができる。(7～14回) ・課題に対して自ら考え、具体的な理由を示してその考えを説明することができる。(2～14回) ・レポートや初歩的な学術論文など大学生活を送るうえで必要かつ実践的な文章を書くことができる。(2～14回)						
成績評価方法	■リアクションペーパー・授業時の課題(70%) 授業内での文章作成などの成果物を評価:適用ルーブリック A1、D1,I1,I2,K2 (フィードバックの方法) 教員による添削 ■レポート(30%) 総仕上げとしてのレポートの完成度を評価:適用ルーブリックK1,I1 (フィードバックの方法) 教員による添削						
履修条件	文章表現1を履修することが望ましい						
履修上の注意点	文章表現は、言葉を使って表現していきますので、書物、雑誌、新聞など日常生活の中で「読む」習慣を身につけましょう。						
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td> ①授業テーマ ガイダンス(全体テーマ、授業の進め方、成績評価の仕方などの説明) ②授業概要 ガイダンス授業。授業の内容やスケジュール、成績評価の方法。発表の方法。ペーパーの書き方などの講義式授業。(I2、K1、K2) ③予習(120分) 自分の関心のある書物を読んでくる。 ④復習(120分) 書物を読み、ポイントをノートに書いておく。 </td></tr> <tr> <td>2</td><td> ①授業テーマ 文章の書き方の基礎的な事項を確認する。 ②授業概要 e-learning教材を用いて、文章作成の基礎的なスキルの確認、養成を行う。その後、見本となる文章を読んで学び、次に課題タイトルに沿った文章を原稿用紙の使い方、句読点、段落など基本的な事項をおさえて800字で書く。(I2、K1、K2) ③予習(120分) 自分の好きなスポーツについて書いてある書物や雑誌記事を読む。 </td></tr> </tbody> </table>	回	内容	1	①授業テーマ ガイダンス(全体テーマ、授業の進め方、成績評価の仕方などの説明) ②授業概要 ガイダンス授業。授業の内容やスケジュール、成績評価の方法。発表の方法。ペーパーの書き方などの講義式授業。(I2、K1、K2) ③予習(120分) 自分の関心のある書物を読んでくる。 ④復習(120分) 書物を読み、ポイントをノートに書いておく。	2	①授業テーマ 文章の書き方の基礎的な事項を確認する。 ②授業概要 e-learning教材を用いて、文章作成の基礎的なスキルの確認、養成を行う。その後、見本となる文章を読んで学び、次に課題タイトルに沿った文章を原稿用紙の使い方、句読点、段落など基本的な事項をおさえて800字で書く。(I2、K1、K2) ③予習(120分) 自分の好きなスポーツについて書いてある書物や雑誌記事を読む。
回	内容						
1	①授業テーマ ガイダンス(全体テーマ、授業の進め方、成績評価の仕方などの説明) ②授業概要 ガイダンス授業。授業の内容やスケジュール、成績評価の方法。発表の方法。ペーパーの書き方などの講義式授業。(I2、K1、K2) ③予習(120分) 自分の関心のある書物を読んでくる。 ④復習(120分) 書物を読み、ポイントをノートに書いておく。						
2	①授業テーマ 文章の書き方の基礎的な事項を確認する。 ②授業概要 e-learning教材を用いて、文章作成の基礎的なスキルの確認、養成を行う。その後、見本となる文章を読んで学び、次に課題タイトルに沿った文章を原稿用紙の使い方、句読点、段落など基本的な事項をおさえて800字で書く。(I2、K1、K2) ③予習(120分) 自分の好きなスポーツについて書いてある書物や雑誌記事を読む。						

	④復習（120分） 自己紹介文について書いた文の推敲をする。
3	①授業テーマ 文章を提出し、添削を受けて推敲する。 ②授業概要 前回e-learning教材で学習した内容の復習を行う。その後、書きあげたものを、添削を受けて書きなおす。（A2、I2、K1、K2） ③予習（120分） 自分の関心のある雑誌記事文を読む。 ④復習（120分） 添削を受けた文章を推敲し、書き直す。
4	①授業テーマ 推敲した文章を発表する。 ②授業概要 e-learning教材を用いて、文章作成の基礎的なスキルの確認、養成を行う。その後、課題文を皆の前で発表する。また、発表を聞く側に回った時は、発表者に向けてコメントを書く。（A2、I2、K1、K2） ③予習（120分） 発表のために文章の完成度をあげて、何度も繰り返し朗読する。その際はリズムなども含め文章の流れに留意する。 ④復習（120分） 発表後に流れが悪かったところを修正する。聞き取った際のコメントペーパーを清書する。
5	①授業テーマ コメントペーパーと発表した文章を提出する。次の課題に移る。 ②授業概要 前回e-learning教材で学習した内容の復習を行う。その後、課題文800字程度にし清書して表紙をつけて体裁を整えて提出する。授業後半は図書館のデータベースの使い方の講義を受ける。レポートを書くためのプランニングを行う。（I1、K1、K2） ③予習（120分） スポーツ選手やコーチ、監督が書いた書物を読む。 ④復習（120分） 「学術論文要旨ペーパーを読む。
6	①授業テーマ データベースで関心のある学術的論文を探して読む。 ②授業概要 e-learning教材を用いて、文章作成の基礎的なスキルの確認、養成を行う。その後、本学図書館のオンラインから学術論文を探し、関心のある論文をダウンロードする。その際にはメモを取りながら読む（D1、I1、K1、K2） ③予習（120分） スポーツに関連した書物や雑誌を読み、人に読んでもらうための工夫がどのようなになっているのかノートに書いておく。 ④復習（120分） ダウンロードした学術論文を熟読し、書き方を学ぶ。
7	①授業テーマ 論文の要旨を書く。 ②授業概要 前回e-learning教材で学習した内容の復習を行う。その後、データベースで関心のある学術的論文を各400字程度の要旨をまとめる。（A1、I1、K1、K2） ③予習（120分） スポーツに関連した書物や雑誌を読み、人に読んでもらうための工夫がどのようなになっているのか、構成に注目してノートにその流れを書く。 ④復習（120分） 要旨を仕上げる。
8	①授業テーマ 論文の要旨を書いて提出し添削を受ける。 ②授業概要 e-learning教材を用いて、文章作成の基礎的なスキルの確認、養成を行う。その後、データベースで関心のある学術的論文を各400字程度の要旨をまとめ、提出して教員から添削を受ける。（A1、I1、K1、K2） ③予習（120分） スポーツに関連した書物や雑誌を読み、人に読んでもらうための工夫がどのような

	されているのか、構成に注目してノートにその流れを書く。 ④復習（120分） 添削された要旨を修正する。
9	①授業テーマ 論文の構成、章立てをする。 ②授業概要 前回e-learning教材で学習した内容の復習を行う。その後、自らが書く学術論文の論文の章立てをする。特に、なぜこの論文を書くのか、動機を明確にする。（A1、I1、K1、K2） ③予習（120分） 自らが手本としたい学術論文構成に注目してノートにその流れを書く。 ④復習（120分） 章立てを仕上げる。
10	①授業テーマ 論文の章立てを完成させ、教員から添削を受ける。 ②授業概要 e-learning教材を用いて、文章作成の基礎的なスキルの確認、養成を行う。その後、自らが書く論文の問題提起や予想される結論を考え、その論理の道筋を考えながら章立てを完成させ、教員から添削を受ける。（A2、D1、K1、K2） ③予習（120分） スポーツに関連した書物や雑誌を読み、人に伝えるための工夫がどのようになされているのか気づいた点をノートに書く。 ④復習（120分） 章立てを訂正する。
11	①授業テーマ 問題提起を先鋭化させ、レポートの核となるタイトルとサブタイトルを決定。章立てに沿って実際に書き始める ②授業概要 前回e-learning教材で学習した内容の復習を行う。その後、実際に書き始める。問題提起を明確に書き、資料を駆使しながら論理を導いていく作業を行う。（A2、D1、I1、K1、K2） ③予習（120分） 章立てをもう一度確認し、論理の流れの見取り図を作成する。 ④復習（120分） 資料を探し、書き進める。
12	①授業テーマ 章立てに沿って論文の後半を書き進める。引用文の自分の言葉を書き分ける。 ②授業概要 e-learning教材を用いて、文章作成の基礎的なスキルの確認、養成を行う。その後、書き進めていくにあたって、自分の言葉と文献からの引用文を書き分けることに留意する。（A2、D1、I1、K1、K2） ③予習（120分） 引用する文献を決めておく。 ④復習（120分） 論文を仕上げる。
13	①授業テーマ 自分の言葉と文献からの引用文を分けて書き、注、参考文献をつける。提出して添削を受ける ②授業概要 前回e-learning教材で学習した内容の復習を行う。その後、引用文の自分の言葉を書き分け、文献からの書誌事項を巻末注につけ、参考文献とは何かの説明を受けて、実際に自らが書いた論文を反映させて提出。教員からの添削を受ける。（A2、D1、I1、K1、K2） ③予習（120分） 引用する文献を決めておく。 ④復習（120分） 論文を仕上げる。
14	①授業テーマ 提出して添削を受けた論文をやり直して、もう一度提出。 ②授業概要 添削を受けた論文を修正する。特に引用文の自分の言葉を書き分け、文献の書誌事項を巻末注につけ、参考文献を付して提出。（A2、D1、I1、K1、K2）

	③予習（120分） 引用する文献を決めておく。 ④復習（120分） 論文を仕上げる。
15	①授業テーマ 添削された論文を修正し、表紙をつけて提出する。 ②授業概要 これまで行ってきたことを振り返り、書く力や表現する力、構成力、論理の展開が身に着いたかを確認をする。それが反映された学術論文かどうか見直したうえで、表紙をつけ、決められた体裁に従って提出する。 (A1、A2、D1、I1、I2、K1、K2) ③予習（120分）これまで書いてきたものを再点検する。表紙のデザインを考えてくる。 ④復習（120分）学術論文の書き方を復習し、引用の方法、注の付け方、書誌事項の書き方を確認する。
関連科目	文章表現1（RMGT/SSCS 1111）
教科書	特になし。資料は印刷して配布する。
参考書・参考URL	参考書は授業時に適宜紹介する。
連絡先・オフィスアワー	開講時にお知らせします。
研究比率	

